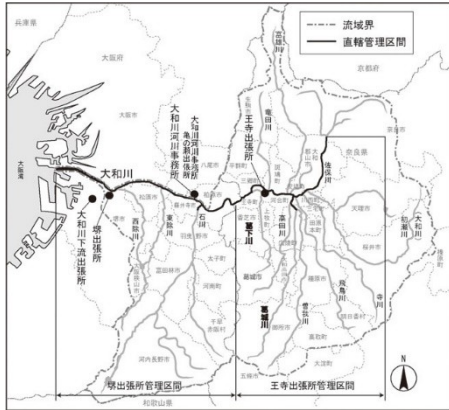


## 日本あちこち河川遡行記（第 253 回）

奈良-1. 大和川（その 3） 平成 31 年 1 月 4 日（金）快晴



01.大和川流域図

平成 31 年の初遡行に出かける。今日は絶好の遡行日である。18 切符利用の客で相生行き 7 両の電車の座席はほとんど埋まっている。相生で赤穂からの 4 両の姫路行きは座れない恐れがあるので駅に着く前に早めにドアの前で立つ。これをこれまで何度繰り返してきたことか！大阪、鶴橋と乗り継ぎ 12 時 12 分近鉄桜井駅で下車。途中車窓から大和三山の一つである「耳成山」をカシャ。傾斜の緩やかな左右対称の大きな丘のような山で三山の中では一番優美な姿をしている。

三山の名を冠した駅名が全て有り、「耳成山」は近鉄大阪線の「耳成」駅に、「畝傍山」は JR 桜井線の「畝傍」駅に、「天香久山」は同じく桜井線の「香久山」駅に有る。線路際に山が有るのは耳成山だけである。香川県の鴨部川を目指した琴電の車窓から見た「白山」はよく似ているな。



02. 車窓から見た大和三山の耳成山 02-1. 琴電長尾線からの白山 (H=202m)

駅前に絵地図が有ったのでカシャ。北を左側にした地図で今日は年末に見た橋の次の橋に向かうので、地図の左上に向かうことになる。駅前広場には桜井がいろいろなことの発祥の地と自慢している広報柱が立っている。東京や京都が何ぼのもんヤー。



03.桜井駅から左上方向に向かう



04. 桜井付近には4つの始まりが有る

先日通過した駅前食堂の前を通ると開いている。駅横のコンビニでサンドを買ったが茶粥を食べたことが無いのでサンドは夜に廻して店に入る。熱いほうじ茶の底にコメが沈んだ粥と言うよりは飯入り茶の感じである。お煮しめの残り物のような副材が付き 600 円也。素朴な食べ物である。



05.駅前食堂で奈良名物の茶粥を食す

年始めなので先ずはそろりそろりと参ろう。

駅前通りから右に曲がり広い道を東に進むと大きな立派な建物が建っている。木材とガラスで出来た建物の屋根には一面にソーラーパネルが広がっている。最新の木造建築で、建物は地元の木材組合が造ったようで、餅は餅屋である。



06.木材を使った地元木材組合の建物

1kmほど進み左折して北に向かうと名産の「三輪そうめん」の工場が有る。今日はお休みのようだが建物の入り口に商品のサンプルが置いてある。そうめんは日本各地、竜野の播州そうめん、小豆島、徳島の半田そうめん、岡山の鴨方、宮城の白石温麺、富山の大門、九州島原など多くの産地が有るが、三輪そうめんは最も歴史が古く、品質、値段も最高である。

真夏に極細のそうめんをさっと茹で氷を浮かべシイタケの入った極上のツユで食すそうめんの舌触りと喉越しは最高である。鱧だしのにゅう麺もうまいぞなもし。



07.三輪そうめん工場の入り口の展示場

川に着くとこの道は丁度「山の辺の道」に続く道で有ることが分かる。道しるべの先には大神神社所有の「三輪山」が見える。山の辺の道は北に向かうが当方は川沿いに東に向かう。



08.山の辺の道を歩き正面には三輪山



09.山の辺の道（桜井区間）

最初の橋「大向寺橋」を見て次の「馬井手橋」に来ると、この辺りは7世紀のころ「海石榴市（つばいち）」と言われ、大規模な市がたち、多くの道が集まり、また大和川の川港も有った水陸交通の要であった、との解説板と大きなタイル絵が有る。ここは藤原京の玄関だったのだ。絵には遣隋使の「小野妹子」が隋から帰国し隋の使者を迎える様子が描かれている。へーここまで舟がやってこられたのだ！古代の都も舟運のことを考えて造られていたのだ。



10.7世紀ごろここは水陸交通の要であった



11.川の公園には中国からの使節がここまで舟で、を描いている

橋を渡り右岸側に来ると今度は仏教伝来の地の大きな石碑と解説板が有る。百済から仏像と経典が舟で運ばれこの地に着き飛鳥に向かったのである。飛鳥も藤原も今から見れば不便な所とを感じるが当時の国際状況と防御と物流を考えれば都として適地であったのだ。



12. 仏教は百済からここに伝来



13. 仏教伝来の地の解説板

右岸（北側）の土手道を進み西を見れば彼方に二上山が、目を東に転ずれば川の南東に聳える音羽山が青空に稜線を浮かばせている。



14. 河川敷から西を見ると彼方に二上山



15. 東に目を転じると音羽山が

いくつかの橋を見て国道 165 号の「新佐野渡橋」に来ると、手前の鋼橋の歩道の奥に初期の PC 橋の車道橋が架かっている。昭和 30 年代架設と思われる橋には延命策の保全工事の跡が見られる。桁外面には鉄板が貼られ、荷重に対する補強として桁の外側に外ケーブルが配置され気合が入られている。高度成長期を経験してきた主要道路の橋はみんな良く頑張ってきたんだなー。

「慈恩寺」地区の旧道を歩いて行くと、「なぼ君の家で一す」と書かれたミニ幟が家の前に有る。奈良らしい鹿も描かれている。下に警察署も書かれているのでナポとは「奈良ポリス」から一字ずつ取った名前のようなのだ。悪霊退散！のお札のようなのだ。



16.国道 165 号の「新佐野渡橋」には  
各種延命対策が



17.「ナポ君」とは何じゃいな？

近鉄が二回川を越える橋を見て朝倉団地に向かう橋を見てくると「脇本」バス停が有る。桜井駅に向かう桜井市コミバスの時刻表を見ると 14 時 29 分発が有る。今の時刻は 14 時 25 分、まもなくバスが来るので今日は年始めの足慣らしとしてここまでとして帰路につく。バスは奈良交通の大型バスで貸し切りで駅に向かう。



18.14 時 25 分脇本バス停に来るとまもなく桜井市コミバスが来る

本日の歩行距離：4.5km。調査した橋の数：13。  
 総歩行距離：10,238.1km。総調査橋数：12,797。  
 使用した 1/25,000 地形図：「桜井」（和歌山 1 号-4）